

**2026年2月期**

# **決算補足説明資料**

2026年4月14日

シンメンテホールディングス株式会社

(東証グロース：6086)

## ■ 過去最高の業績達成

売上高 **299億 46百万円**(前期比16.5%増)

猛暑の影響による空調関連需要の増加に加え、事業の柱である飲食業界からの依頼が増加したことにより、過去最高売上高を達成した。

経常利益 **18億 97百万円**(前期比21.5%増)

規模の経済により原価が低減され、粗利益額が拡大した。  
賃上げによる人件費は増加したものの、生産性向上により経常利益も増加した。

## ■ 配当の増配

好業績に伴い、期初予想18円を20円とする過去最高配当を実施予定。

1. シンメンテホールディングスについて
2. 2026年2月期 決算報告
3. 2027年2月期 業績予想
4. 今後の見通し
5. Q&A

# 1

## シンメンテホールディングスに ついて

# 経営理念 ビジネスモデル

## 経営理念

### 夢新（むしん、ゆめあらた）

豊かな人生、豊かな社会の実現という夢をもち、新たな挑戦を続ける集団でありたいと考えております。

## ビジネスモデル

- チェーン展開している店舗・施設の設備・機器のトータルメンテナンスサービスを提供。
- 業界最大規模の全国メンテキーパーネットワークを駆使した迅速かつローコストサービスを提供する仕組みが強み。



# お客様の業態

■ 飲食業界で培った経験・ノウハウを活用し、物販等、チェーン展開をしている様々なお客様の店舗・施設設備の不具合を解決し続けている。

## 飲食

- ・居酒屋
- ・カジュアルレストラン
- ・高級レストラン
- ・ファーストフード
- ・弁当、総菜
- ・喫茶、カフェ
- ・焼肉、ステーキハウス
- ・寿司
- ・中華
- ・料亭
- ・定食、そばうどん
- ・ビアホール



## 物販・小売

- ・ドラッグストア
- ・調剤薬局
- ・家電量販店
- ・家具・インテリア専門店
- ・ホームセンター
- ・100円ショップ
- ・紳士服専門店
- ・カジュアル衣料専門店
- ・メガネ専門店
- ・生活雑貨
- ・書店
- ・靴専門店
- ・スポーツ用品専門店
- ・パソコン専門店
- ・サイクルショップ
- ・自動車販売業
- ・中古車販売
- ・ガソリンスタンド
- ・リカーショップ
- ・食品スーパー
- ・コンビニ



## 介護・理美容・その他

- ・介護（施設系サービス）
- ・介護（在宅系サービス）
- ・美容室
- ・理容室
- ・エステ
- ・温浴施設
- ・フィットネス
- ・整体マッサージ
- ・カラオケ、漫画喫茶
- ・ペットショップ
- ・学習塾
- ・ホテル
- ・コインランドリー
- ・社員寮
- ・自治体、公共事業
- ・医療施設



チェーン展開している店舗・施設にサービスを提供

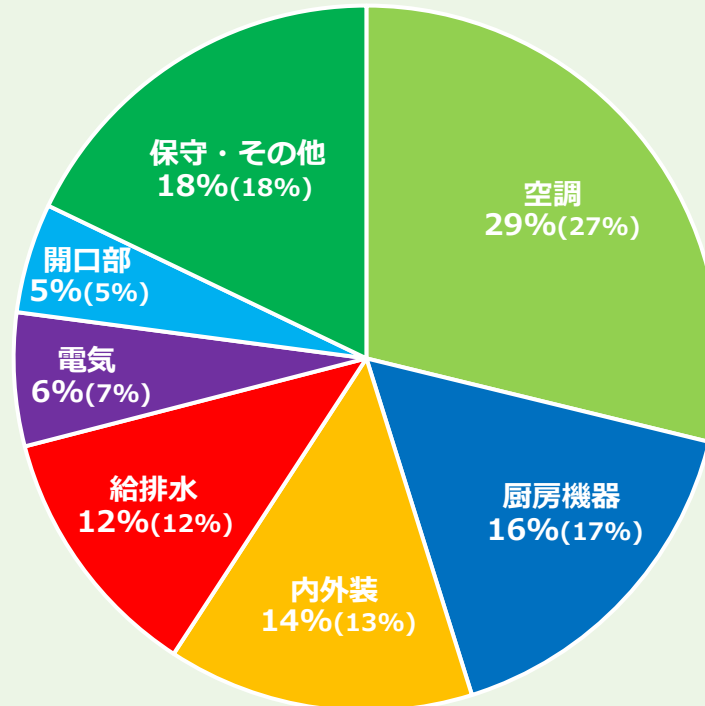
# メンテナンスサービスアイテム

■24時間365日 幅広いメンテナンスサービスを提供。主に、緊急メンテ、Pメンテ、保守サービス。

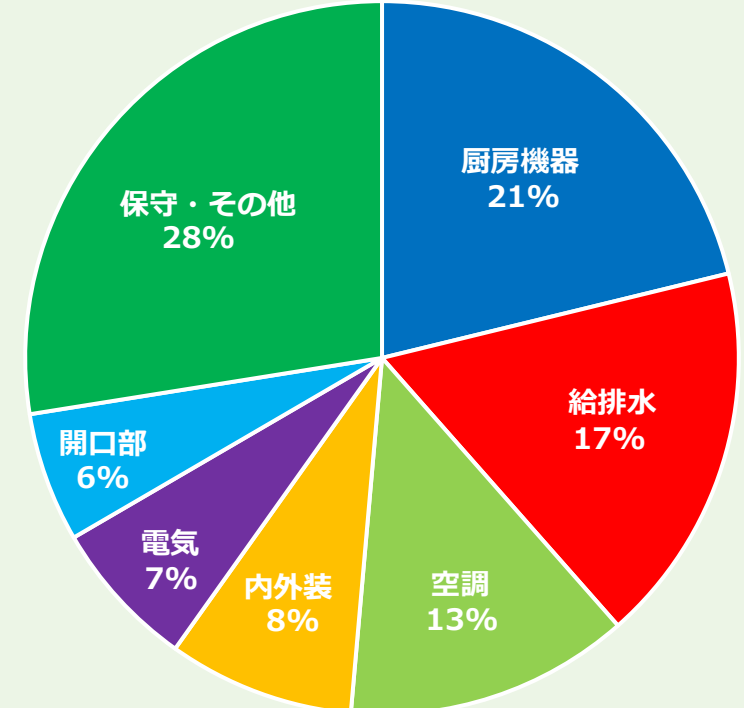
※Pメンテとは、ビッグデータに基づき、各店舗に合わせた最適なメンテナンス計画を提案、実施する計画修繕のことである。

 厨房機器	 水まわり	 エアコン	 グリストラップ清掃 浄化槽保守
 ガス設備	 衛生設備 トイレ	 給排気設備 ダクト	 消防点検
 内外装	 電気設備	 扉・鍵 ガラス	 廃棄物管理

売上高構成比



対応依頼件数構成比



※各円グラフの集計期間は2025年3月～2026年2月

※売上構成比( )内は2024年3月～2025年2月の割合

※その他の内訳  
消防点検、廃棄物管理など

※開口部の内訳  
扉・鍵・ガラスなど

# 2

## 2026年2月期 決算報告

# 決算の概況

(単位：百万円、%)

## ■売上高

猛暑の影響で空調関連の需要が高まったこと、事業の柱である飲食業界の依頼が増加したことにより過去最高売上高となった。

## ■売上総利益

物価高による資材価格上昇の影響もある中、継続した原価の適正低減策により、売上総利益率が0.3%増加した。

## ■販管費

大幅な賃上げによる人件費増加はあったが、業務効率も高まり販管費率は低下した。

## ■経常利益

営業外収益として保険解約返戻金27百万円を計上した。

## ■当期純利益

好調な業績により、過去最高利益となった。

損益	2025年2月期 実績		2026年2月期 予想		2026年2月期 実績	
		構成比		構成比		構成比
売上高	25,707	100.0	28,913	100.0	<b>29,946</b>	100.0
売上総利益	5,839	22.7	6,542	22.6	<b>6,859</b>	22.9
販管費	4,304	16.7	4,860	16.8	<b>5,001</b>	16.7
営業利益	1,534	6.0	1,681	5.8	<b>1,857</b>	6.2
経常利益	1,562	6.1	1,706	5.9	<b>1,897</b>	6.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,033	4.0	1,117	3.9	<b>1,239</b>	4.1
1株当たり配当金	16円	—	18円	—	<b>20円</b>	—

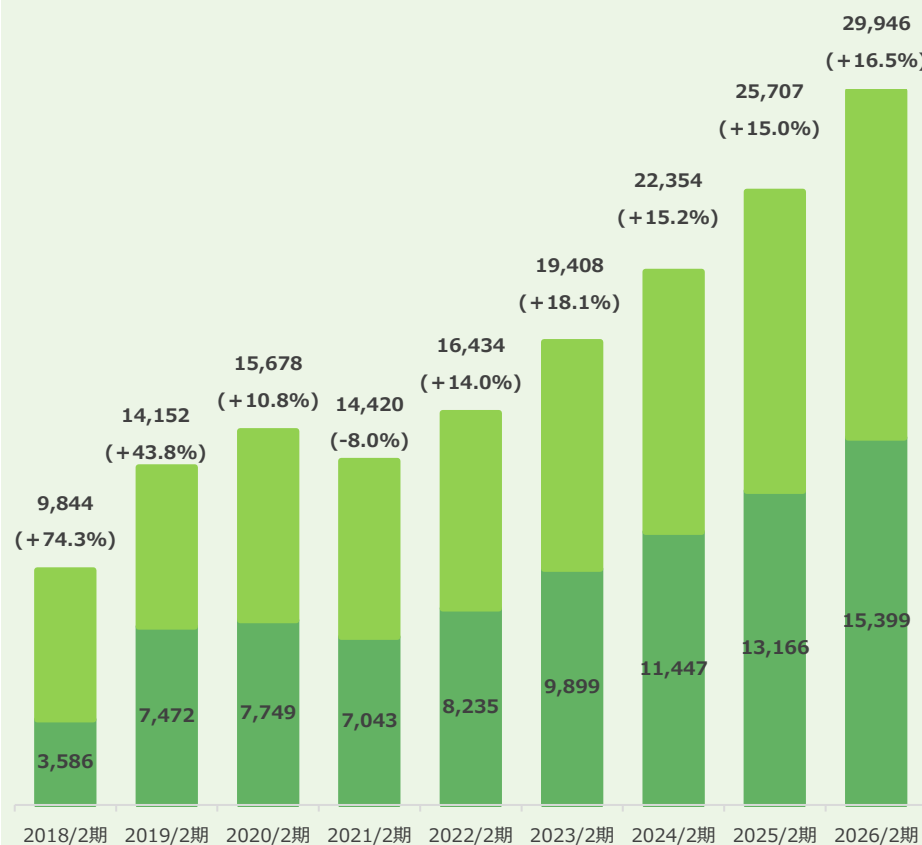
※株式分割遡及修正後。

※2026年5月開催の定時株主総会に付議予定。

# 売上高/経常利益の推移

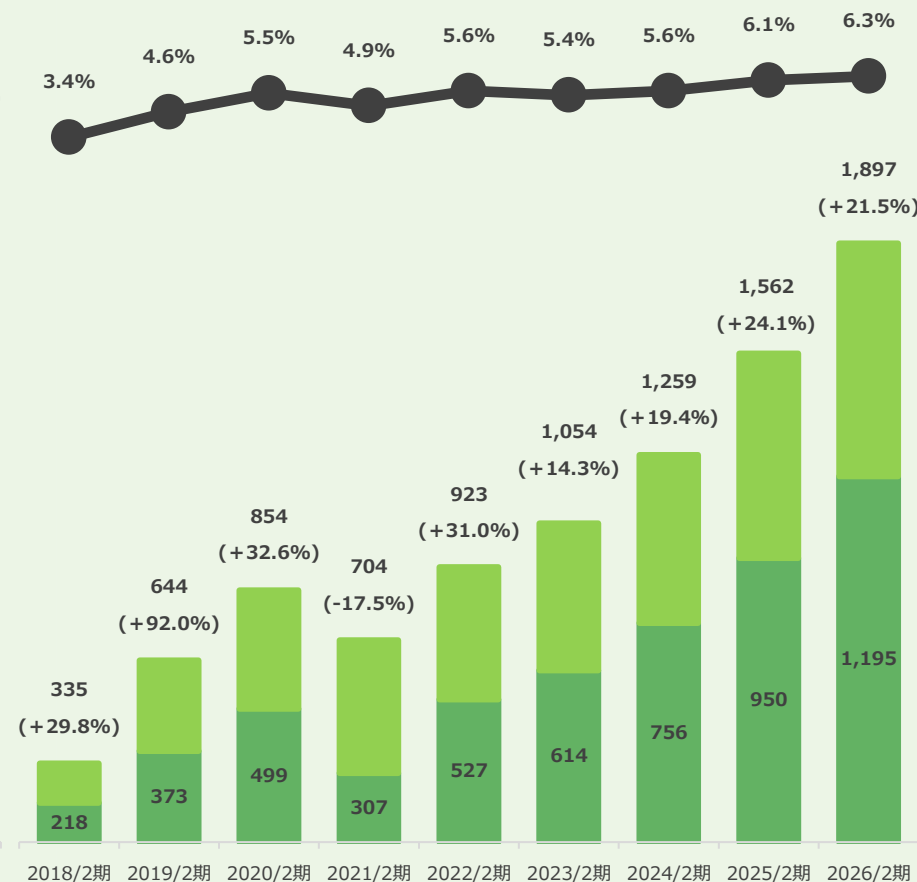
## 【売上高】

(単位：百万円)



## 【経常利益・経常利益率】

(単位：百万円)



■ 上半期 ■ 下半期 ( ) は前年増減率

■ 上半期 ■ 下半期 ( ) は前年増減率

# 貸借対照表

(単位：百万円)

## ■ 資産

- ・利益の増加、取引量の拡大により現預金が516百万円、売掛金が607百万円増加。

## ■ 負債

- ・取引量の拡大により買掛金が739百万円増加。

## ■ 純資産

- ・当期純利益の計上により利益剰余金が937百万円増加。
- ・機動的な資本政策を遂行するため、自己株式を取得したことで143百万円減少。

	2025年2月期 実績	2026年2月期 実績	前期増減
資産	9,066	11,088	2,022
流動資産	7,731	9,000	1,269
固定資産	1,335	2,088	753
(内、のれん)	39	-	△39
負債	5,514	6,451	937
流動負債	4,776	5,700	924
固定負債	737	750	12
純資産	3,552	4,637	1,085

# 3

## 2027年2月期 業績予想

# 2027年2月期 業績予想

(単位：百万円、%)

- 売上高**  
 これまで同様、飲食業界は勿論のこと、物販・小売業、介護業界など幅広くサービスを提供し11%超の増収を見込む。
- 売上総利益**  
 物価高による資材価格等の上昇が見込まれるが、継続した仕入れ購買力の強化により前期同水準の売上総利益率を見込む。
- 販管費**  
 引き続き、賃上げによる人件費の増加等を見込むことで12.8%増加を予想する。
- 当期純利益**  
 増収による増益を見込む。

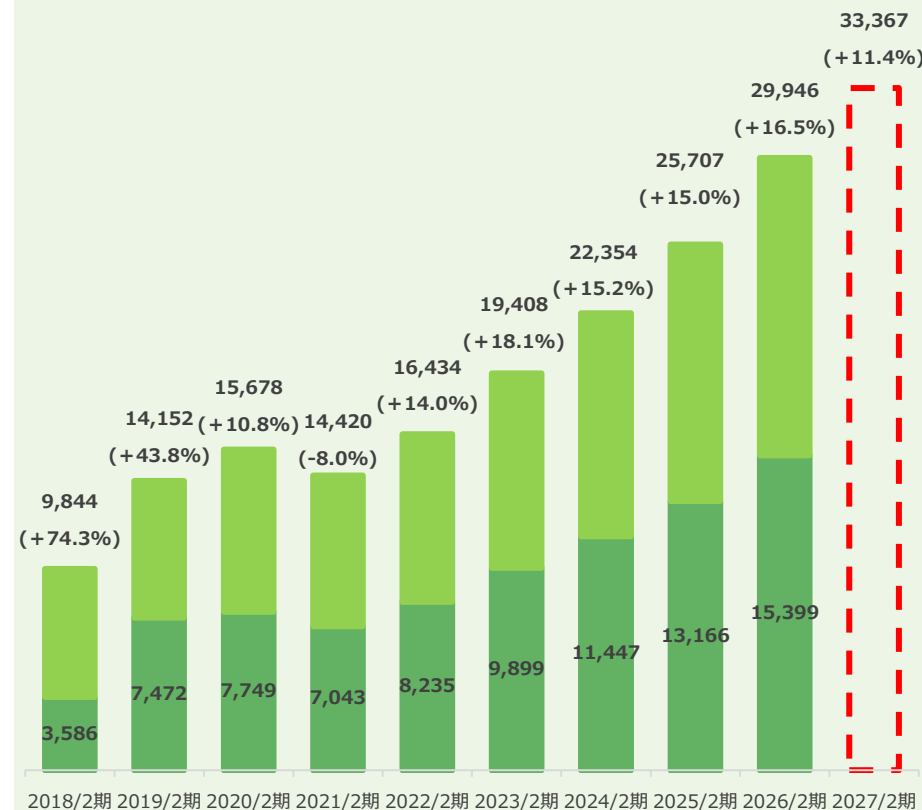
損益	2026年2月期 実績		2027年2月期 予想		前期増減	
		構成比		構成比		増減率
売上高	29,946	100.0	33,367	100.0	3,420	11.4
売上総利益	6,859	22.9	7,644	22.9	785	11.4
販管費	5,001	16.7	5,642	16.9	641	12.8
営業利益	1,857	6.2	2,001	6.0	144	7.8
経常利益	1,897	6.3	2,010	6.0	112	5.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,239	4.1	1,323	4.0	84	6.8
1株当たり配当金	20円	—	22円	—	—	—

※2026年5月開催の定時株主総会に付議予定。

# 業績予想を含む 売上高/経常利益 の推移

【売上高】

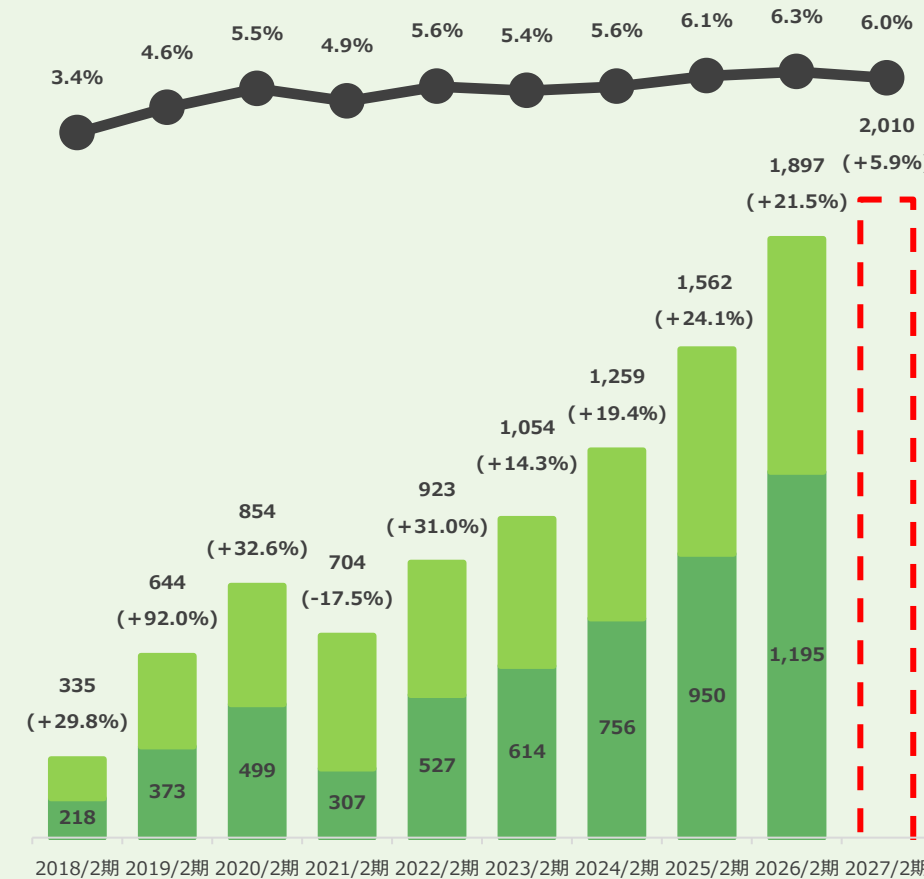
(単位：百万円)



■ 上半期 ■ 下半期 ( ) は前年増減率

【経常利益・経常利益率】

(単位：百万円)



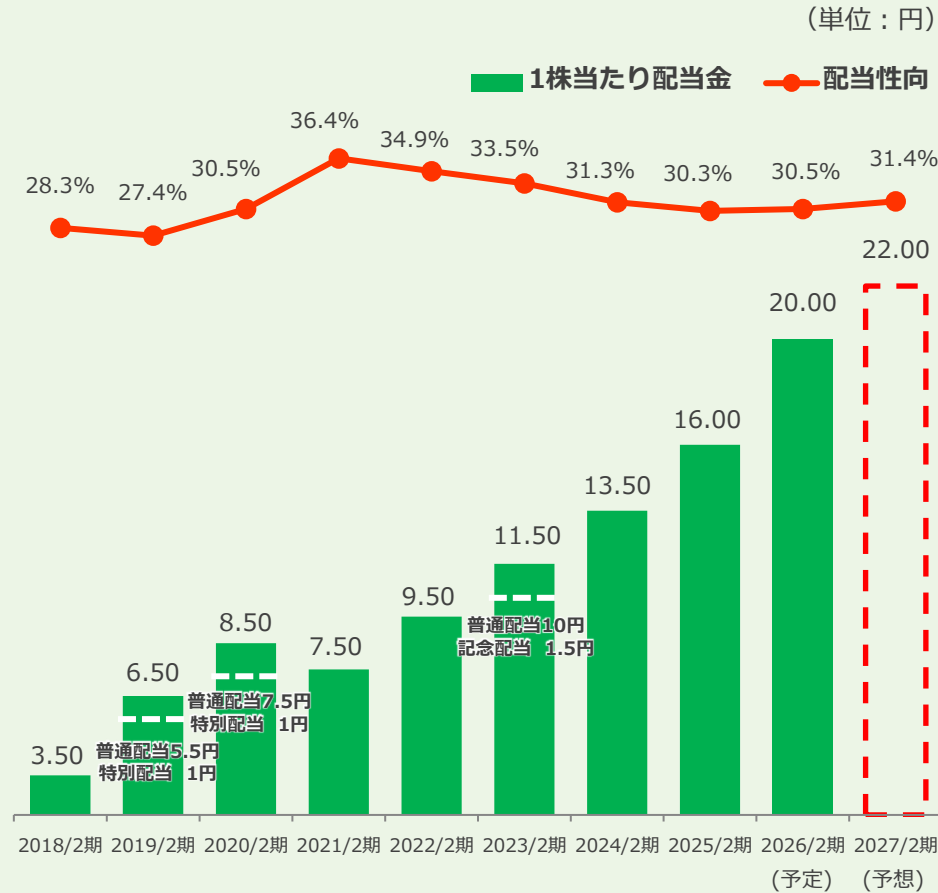
■ 上半期 ■ 下半期 ( ) は前年増減率

# 株主還元状況

## ■ 配当方針

株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして、配当原資確保のための収益力を強化し継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針とする。

### 【1株当たり配当金と配当性向】



(注) 過去の配当金については、株式分割の影響を考慮し、すべて遡及修正後の1株当たり配当金として表示しております。

### 【株主優待】

保有株数	優待内容
100株以上 600株未満	ジェフグルメカード 500円相当
600株以上 1,200株未満	ジェフグルメカード 1,000円相当
1,200株以上	ジェフグルメカード 3,000円相当

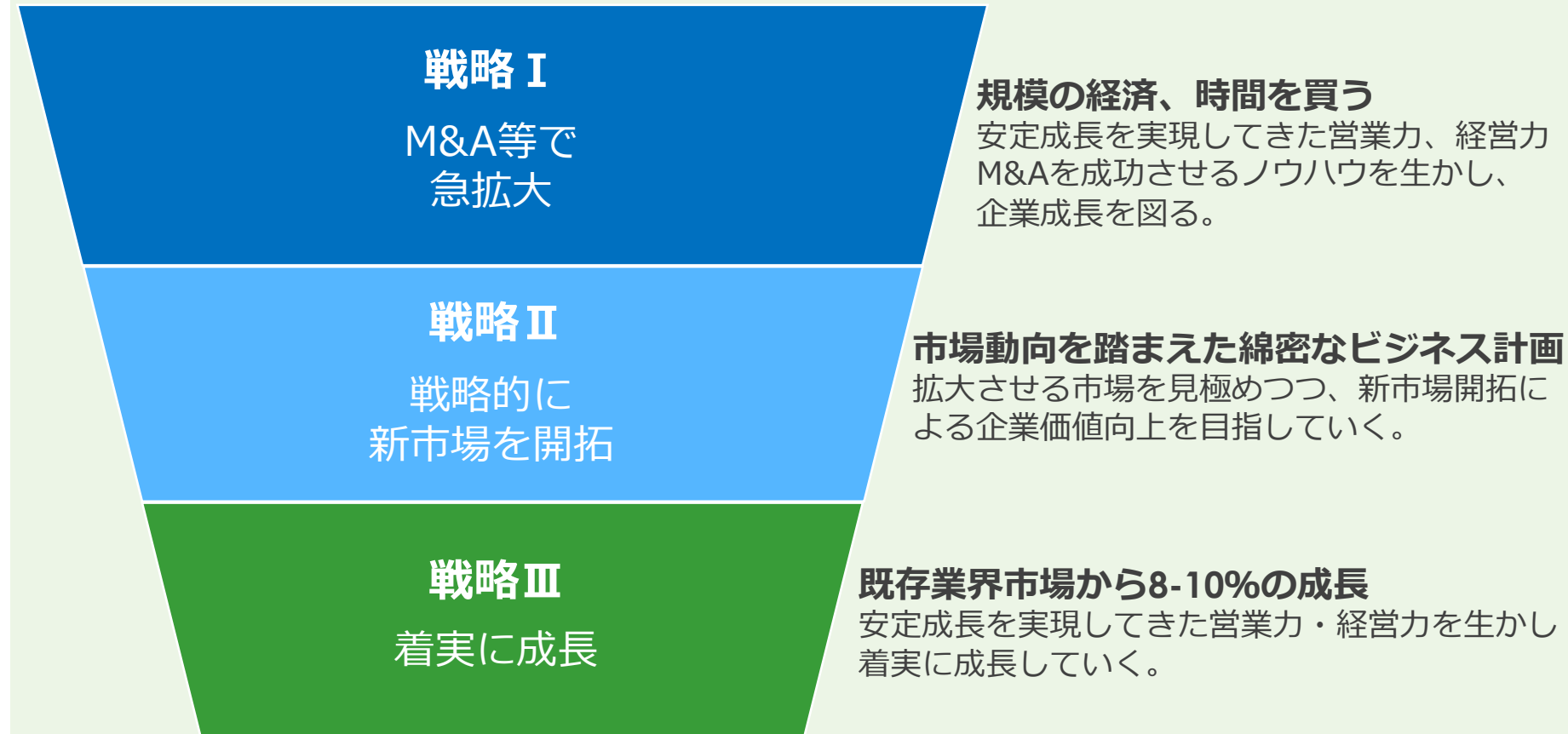


# 4

## 今後の見通し

# 成長戦略

- 当社のメンテナンス事業において、国内5000億円超のマーケットがあると考えており、拡大余地は大きく、さらなるシェアの拡大を図る。
- 国内のみならず、ビジネス活動の舞台を海外にも広げていく。ターゲットとなる国／エリア、海外進出の方法等を慎重に検討し、グローバル企業に成長・進化すべく、最初の一步を踏み出す。



## M & Aの基本方針

- 規模の経済、時間を買う  
これまで安定成長を実現してきた営業力や経営力に加え過去M & Aを成功させたノウハウを生かし、対象会社のみならずグループ全体の成長を図る。

### ● ターゲット

- ・ メンテナンス事業を行っている会社
- ・ メンテナンス事業とシナジーのある周辺領域を扱っている会社
- ・ 対象会社の本店所在地や営業エリアは国内外を問わない

### ● 戦略視点

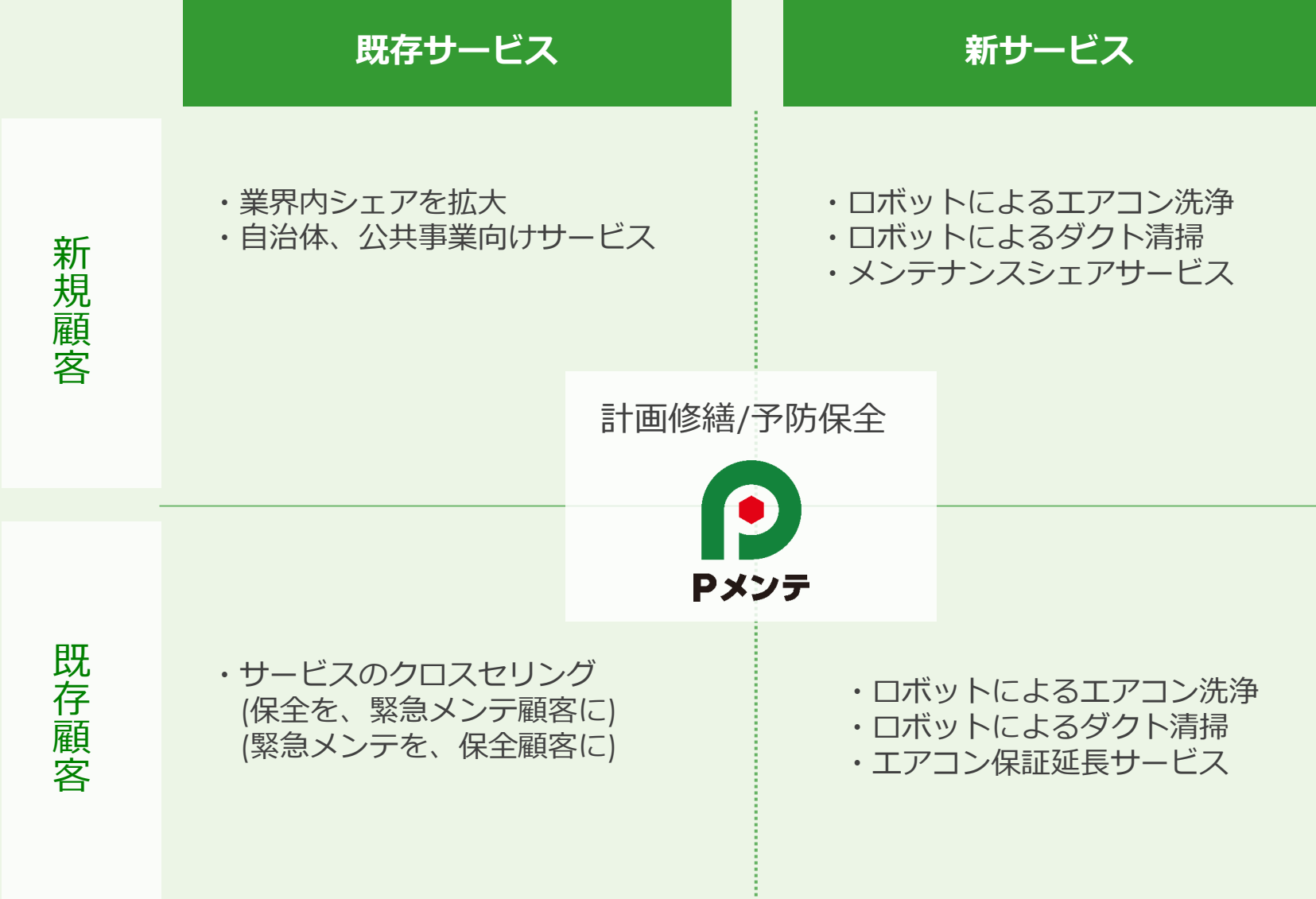
- ・ 創業以来安定成長を実現してきた当社の経営力を生かし、対象会社の成長を加速させる
- ・ 当社におけるPMI成功実績を踏まえた対象会社の成長戦略
- ・ 対象会社を当社の同業（周辺領域を含む）に絞ることによるPMIリスクの最小化

### ● 財務

- ・ 適切な財務健全性に基づき投資
- ・ 合理的なEBITDA倍率を基準
- ・ 原資は、負債調達を基本としつつ、資本調達も選択肢の一つ

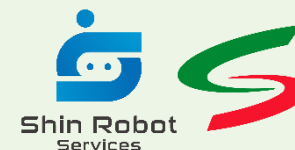
# 戦略Ⅱ

- 既存顧客  
ご利用いただいていないサービスのクロスセリングを実施。
- 新規顧客  
新サービスをテコに拡大。
- すべての顧客  
需要の高いPメンテを全国的に推進していく。



# ロボットによる 業務用エアコン洗淨 サービス

## シンロボサービスを株式会社テスコに吸収合併



Shin Maint  
Holdings

- ・ 飲食/介護業界に強い繋がりを持つテスコの営業力を活かし、ロボット洗淨を拡販するアプローチにより、業績を急速に拡大させてきた。その勢いを更に強固にするために、本年3月1日よりシンロボサービスをテスコに吸収合併することとした。既存拡大・新規獲得を加速する。
- ・ 機能改善も進めながら、協力業者の拡大・育成に努め、ロボットによる洗淨サービスの提供先顧客・エリアを拡大している。
- ・ 現在、主要協力業者は7社。関東・関西に福岡地区を加え、拡大中。



## これから

近い将来100台/年の生産を目指す。

協力業者の育成と拡大を図り、サービス提供能力を高める。

安定したサービス提供のための品質マニュアル整備を進める。

業務用エアコン洗淨サービスで圧倒的なシェアを獲得。



- 3K（きつい、汚い、危険）と言われる業務用エアコンの分解洗淨業務。
- 企業では、SDGs活動が定着し、環境への配慮、“エコ”に繋がる施策が奨励されている。
- 電力コスト削減、クリーンな空気に対する要求が高まる一方労働人口減少を背景に、洗淨の担い手不足が懸念される。
- ロボットによるエアコン洗淨は「誰でも」「均一品質」を実現できる画期的な解決策。

- 飲食業界以外への業界・顧客へのビジネスの拡大が進む中「飲食業界・顧客の復調による依頼増」に適切に対応し業容拡大を目指す。
- AIを活用したDX推進により業務効率化とサービス品質の向上を目指す。
- 海外展開を加速し事業拡大を図る。



## 飲食業界

- ▶ 飲食業界・顧客の復調による依頼増加に適切に対応する。
- ▶ 好調な空調関連メンテナンスに加え内外装など他アイテムの需要を掘り起こす。



## 飲食業界以外

(物販・小売・介護)

- ▶ 需要の高いPメンテを全国的に推進していく。
- ▶ 売上構成比率は高まっている為、さらに販売促進活動を強化、継続し、既存顧客の拡大に加え新規顧客やアイテムを獲得していく。



## 人的資本

- ▶ 業容拡大を支える人材の採用や教育、ケアに努める。
- ▶ 地方の営業活動強化に伴い不足が予想されるメンテキーパーネットワークの安定性を確保する。



## 事業拡大

- ▶ AIを活用した次世代メンテナンスシステムの実現に向け、過去のビッグデータをもとに最適な修理方針を提案するAIエージェントの実証実験が始まっている。
- ▶ 米国SERVICE FIRST社との業務提携活動を進展させ、事業拡大に向けた具体的な成果を追求するとともに、海外展開のノウハウを蓄積する。

# 5

## Q&A

質問	回答
業績変動は季節の影響が関係しているか。	関係している。夏場の猛暑や台風の影響で機器故障が多く発生する。
機器や部品の供給不足による影響はあるか。	影響はつけたが、事前に在庫確保等の対策を行っていた。
競争優位性はあるか。	自社でサービスマンを抱えず、全国メンテキーパーネットワークを駆使し、迅速に解決する。また、規模の経済によりメンテナンスコストを最適化している。
中期経営計画を出す予定はあるか。	国内外の政治、経済状況を見定め、ある程度見通しがつき次第、作成を検討している。

# IRに関する免責事項

当資料は、投資家の皆様にシンメンテホールディングス株式会社への理解を深めていただくことを目的として、経営や財務に関する情報を提供するものです。

以下の点をご了解の上、ご覧ください。

- 見通し等は、作成時点において当社が予測しうる範囲内で作成したものです。
- 記載の見通し等とは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおりますことをご承知ください。
- 投資に関する決定は投資家ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 掲載内容について細心の注意を払っておりますが、不可抗力によって情報に誤りを生ずる可能性もございますので、ご注意下さい。

## 問い合わせ先

シンメンテホールディングス株式会社  
I R担当

E-mail : [info@shin-pro.com](mailto:info@shin-pro.com)

Tel. : 03-6260-1572

Fax. : 03-6260-1840

ホームページ : <https://www.shin-pro.com/>